

ビジョン策定後の進め方（案）について

【ビジョン策定後の取組イメージ】

まちづくりビジョンは、目指すべきまちの将来像とその実現に向けた取組方針を定めるものです。将来像の実現には関係者の協働が不可欠あり、ビジョン策定後は長期的なまちづくりの具体化に向けた議論を深め、それを関係者間で共有し、それぞれが連携、協働して着実に取組を進める必要があります。

（具体検討事項）

- ・導入する都市機能
- ・エリアごとの土地利用の方針
- ・基盤整備の方針（道路や東西一体のまちづくりのあり方等）

ビジョン策定後の次のステップとして、基本計画の策定に向けて進めていきます。

※基本計画：長期的なまちづくりの方向性を具体化するとともに、重点プロジェクトを定め、策定後10年間の行動計画となるものを想定

【今年度（令和8年度）に取り組むこと】

○ビジョンの周知・浸透

- ・広報かわごえ、オープンハウス等

○ビジョンの具体化（基本計画策定）に向けて

- ・基本計画策定に向けた調査検討
- ・検討体制の構築
- ・関係者協議の実施
- ・ワークショップ開催等

○交通安全対策の検討

【来年度以降に取り組むこと】

○長期的なまちづくりの具体化に向けて

- ・基本計画の策定
- ・都市計画変更案の検討（用途地域、地区計画等）
- ・社会実験、暫定利活用等の実施
- ・協働体制の構築・推進（まちづくりイベント開催等）

○まちづくり計画の推進